

08

腹痛セットについて

医療の
小ネタ

間の最重要臓器は、脳と心臓と肺です。いずれも無くなった途端に生きることが不可能になります。

そのため脳は頭蓋骨で、肺と心臓は肋骨でガードされています。

残りの臓器は一緒くたにされて、守る骨の無いお腹に押し込められています。

消化管だけでも胃・十二指腸・小腸・大腸があり、肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓・膀胱・(子宮)と、実に10～11個の臓器が大部屋で共に暮らしています。



これだけあると、お腹の痛みが出た時は大変です。個別に当たっていたのでは、検査の項目数が多くなり過ぎ、コストばかり嵩みます。

そこで登場したのが「腹痛セット」です。

通常では見逃されやすい膵機能検査が充実しているのが特徴で、これと腹部エコー検査を組み合わせれば、スクリーニング検査としてはほぼ完璧です。

わが国の医療費削減の流れは止められそうもありません。

予算を削られても医療のレベルを落とさないためには、現場も知恵を働かせ、工夫を重ねなければならないと思います。

腹痛セットの検査項目は以下の通りです。

え？これだけ？と思われるかもしれませんが、はい、これだけです。

腹部臓器のいずれかに異常があれば、検査のどれかに異常が出ます。必要であればその結果に合わせて精密検査を行えば良いと考えています。

腹痛セット：CBC、CRP、GOT、GPT、ALP、BUN、クレアチニン、AMY、LIP、トリプシン